

2. 調査方法

調査範囲及び作業の概要

調査対象地域はモンゴル国の中央北部のブルガン県及びエルデネット市に位置し、面積は 5,500km² である。首都ウランバートルからエルデネット市までの移動及び機材の運搬にはジープ及びトラックを使用し、その距離は約 340km、所要時間は約 6 時間である。

3 年間の作業概要と調査の流れを Fig. 3 にまとめた。

第 1 年次には、既存データ解析、地質調査及び空中物理探査を実施し、調査対象地域の面積 5,500km² から次年度の調査対象地域を絞り込んだ。

第 2 年次には、地質調査及び物理探査（TDIP 法電気探査）を実施し、地化学異常域及び物理探査異常域が抽出された Mogoin gol 地区においてボーリング調査を実施した。

第 3 年次には、地質調査、物理探査（TDIP 法電気探査）及びボーリング調査を実施した。ボーリング調査は、第 2 年次に Mogoin gol 地区で抽出された IP 異常域において引き続き実施した。また第 1 年次空中物理探査によって抽出された低磁気異常域において地質調査の再検討を実施し、低磁気異常域に鉱徴地と地化学異常が確認された地域において物理探査を実施した。Zuukhiin gol 地区において銅の高地化学異常及び高 IP 異常域が捕捉され、ボーリング調査を実施した。また Khujiriin gol 地区では第 1 年次地質調査で地表部に優勢な鉱化帯を補足したが、第 2 年次の調査で鉱業権の問題が起これ、調査を中止した。3 年次にはその鉱区の西側で地質調査と物理探査が行われた。

本調査で実施した各探査手法の調査量及びそれに伴って実施した調査量及び室内試験の数量を Table 2 に示した。